

東日本大地震について

社団法人 日本理学療法士協会
会 長 半 田 一 登

◆会員の皆様へ

我々理学療法士は、身体に障害のある方々の自立した生活を確保することを大きな目標とした職種です。そして、日々コツコツと利用者と共に目標に向かって進み、小さな改善に笑い、小さな障害に困惑し、そして共に涙してきました。しかし、今回の地震は何の罪もない多くの方々のこれまでの努力や生活、そして命すら一瞬のうちに奪ってしまいました。この巨大な自然の仕打ちに人間が立ち向かうためには、力を合わせるしかありません。会員は当然ながら被災者の方々に対しても、本会は最大の援助を行う覚悟です。

以下、本会の現状における当面の方針です。

① 本会単体での募金活動実施

本会募金口座を開設し、会員からの募金を開始します。

② ボランティア活動実施

厚生労働省及び内閣府との調整を念頭に置き、他職種等との連携した活動を目指します。主たる目的は被災住民の生活機能の維持拡大とします。

ボランティア募集開始は、FAX通信等でお知らせします。

③ 被災会員への支援を実施

すでに完成していた23年度予算を、通常予算から非常時予算として組み替えます。その上で被災都道府県理学療法士会及び被災会員の支援を行います。また、ボランティア派遣に関連する経費も計上します。

④ その他

未だ被害状況把握が十分ではないため、今後の展開には機敏に対応する予定です。皆様のご協力をお願い致します。